

# 橘小学校等複合化整備計画

令和5年3月

名古屋市

<目 次>

はじめに	1
第1章 敷地の概要	2
第2章 上位計画	4
第3章 現状の課題認識等	5
第4章 基本的な考え方	7
第5章 運営・管理計画	10
第6章 施設配置の基本的な考え方等	14
第7章 平面計画案	21
第8章 事業手法	24
第9章 事業スケジュール（予定）	26
（参考資料）	
各施設の概要	27

## はじめに

名古屋市では、「名古屋市総合計画2023」において、良好で質の高い学びを実現する環境の整備とともに市全体の公有財産の有効活用を図るため、学校施設と公的施設等との複合化に取り組むこととしています。

国においても、令和4年3月に取りまとめられた「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」において「将来のまちづくりを見据えた地域の拠点としての役割や、地域の活性化・課題解決等の観点から、地域の人づくりや魅力向上のための基盤となる学校施設を核とした他の公共施設との複合化や、施設・設備の共用化・集約化等を推進する必要がある。」との報告を公表しており、複合化を後押ししている状況にあります。

名古屋市中区に立地する橘小学校は、児童数に比して運動場が狭小であることや避難所となる体育館が3階にあり、防災の観点で課題があることなどから、地域から子どもたちの教育環境を改善するとともに、防災機能の強化等の要望が出されています。また、その周辺には中生涯学習センターや前津福祉会館、前津児童館があり、これらの施設はいずれも建築から40年以上が経過しており、大規模な整備を検討する時期にきております。

こうした中、名古屋市では橘小学校と周辺の公共施設である中生涯学習センター、前津福祉会館、前津児童館（以下、「市民利用施設」という。）を複合化して整備することで「様々な世代の人々がふれあう、学びあう、つながりあう、新たな地域コミュニティの拠点」を基本理念とした本市で初めての学校施設と他の公共施設との複合施設を整備し、橘小学校の教育環境の改善を図るとともに、市民利用施設における市民サービスの向上を図ることとしました。

令和3年度には、学校関係者、学区関係者、複合化する施設関係者による橘小学校等複合化整備ワークショップ等においていただいたご意見やアイデアを踏まえ、複合化整備に向けた基本的な考え方を取りまとめた「橘小学校等複合化整備構想」（以下、「整備構想」という。）を策定しました。この整備構想に基づき、施設整備に向けた考え方をより具体的に検討した内容を取りまとめ、「橘小学校等複合化整備計画」（以下、「整備計画」という。）を策定しました。